

# 国語科学習指導案

指導者 広島市立〇〇小学校  
教諭 〇〇 〇〇

1 日時・場所 平成20年11月〇日

2 学年・組 第3学年〇組

## 3 指導事項

(1) 書くこと イ

- ・文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること

4 単元名 つたえたいことをはっきりさせて書こう「わたしの研究レポート」

5 言語活動 研究レポートを書くこと

## 6 単元について

- 第3学年の児童は、学習経験や生活体験の広がりとともに、興味・関心を持つ事柄も多岐にわたり、知的好奇心も旺盛になってきている。こうした時期をとらえ、身の回りのくらしの中から自分が興味を持った問題について調べ、横書きのレポートという形で報告する文章を書くという学習を設定した。児童は、すでに他教科や「総合的な学習の時間」において、調べ、報告する活動に取り組んでいるが、自分の伝えたいことを明確にして報告するという観点から、改めて国語科の学習として位置付けた。本単元での、説明的な文章を書く経験は、論理的な思考力を高めるために特に有効な手立てであると考えている。特に、レポートにまとめる過程に、集めた材料の組み立て方について取り上げることを通して、論理的で分かりやすい文章の構成を身に付けることができると考える。

児童がこれまでに書いてきた、観察や見学などの記録文、日常生活のことを簡単に伝える報告文は、児童のことをよく知っている指導者や家族、友だちといった身近な人々、すなわち児童が相手意識を持ちやすい「顔の見える相手」に対するものが多かった。しかし、第3学年の児童には、興味・関心の広がりに伴い、共有する体験を持たない、いわば「顔の见えない相手」に自分の伝えたいことを表現する機会が増えてくる。最終的には、誰が読んでも分かりやすい論理的な表現ができるようになることが肝要である。本単元は、「顔の見える相手」から「顔の见えない相手」へと相手意識を深化させていく一つの過程であるとも言える。

- 本学級の児童は、明るく素直で思いやりの気持ちを持って人と接することができる。学習に対してまじめな姿勢で取り組むことのできる児童が多く、興味のあることには意欲的に取り組んでいる。「情報を正しく伝える技術」については、1年生からの学習の積み上げがあるので、必要な情報を整理し、順序を考えて説明することについての一定の理解はある。また、全体から部分へ、右から左へなど、秩序だった視点移動の力も育ちつつある。しかし、自力では文章を書きにくい児童や、書く必要のある事柄の選択や、書こうとすることの中心を明確にすることができていないために、やたらに文章が長くなり、何を伝えたいのか分からない文章になってしまう児童がいる。話し合いについては、全体の場では目立つのを恥ずかしがり、発表が小声になってしまう児童もいるが、グループでの活動を取り入れると、自信が持て、全体での発表につながることも多い。
- 指導に当たっては、伝えたいことが確かに伝わっているかどうかを常に考えさせながら文章を書

かせたい。「伝わりやすさ」を実現するためには、何を伝えたいのか（題材・主題），伝えるためには、書き手は何を知らなければならないのか（取材内容），それをどう収集すればいいのか（取材方法），その中から何を選んで書けばいいのか（選材），選んだ事柄をどう構成すればいいのか（構成）を、段階を追って学習させていく必要がある。

そこで、まず、研究レポートとはどのようなものなのかを理解し（第一次），次に、研究レポートを書くためのプロセスを共通体験し（第二次），そして、自分の選んだ題材で研究レポートを実際に書き（第三次），最後に、自分で書いた「研究レポート」を交流しあう（第四次），という4段階のステップを踏んで指導していきたい。

中でも、第二次の研究レポートを書く活動を共通体験させる際には、本単元における指導事項の「文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成する力」を育てられるよう、効果的に学習を進めていく必要があると考える。具体的には、組み立てメモを書く力の育成を重点的に取り扱っていく。組み立てメモの指導にあたっては、基礎・基本の力としてポイントを3点にしぼって指導する。1点目は、伝えたい内容を考えながら、たくさんあるメモの中から、必要なメモを選択すること、2点目は、題・名前・調べた理由・調べたことと分かったこと・調べた感想といった項目ごとに分けて書くこと、3点目は、文章全体の段落の役割を理解し、段落にそって書くということである。

さらにステップ・アップさせるために、次の2点を指導のポイントとする。1点目は、調べた感想を確実に伝えるために、調べたものと分かったことの項目の書き方を工夫させること、すなわち、伝えたい内容に合わせて、複数のメモに見出しをつけてまとめる（グルーピング・ラベリング）こと、2点目は、調べた感想の欄に、一部のメモに関する感想だけでなく、メモ全体を読んだ感想や気づきも書くということである。児童は、部分をとらえるのは得意だが、全体をとらえるのは苦手である。ここでいう全体とは、文章全体における段落の役割を理解するということである。

このように、組み立てメモを書かせることは、文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係を考える力を身に付けることにつながっていくと考える。

## 7 少人数学級のよさを生かした指導の工夫

- 複数教師による役割の分担
  - ・ T1は、教科の専門性を生かし、主に授業の進行役をする。限られた時間内で、ことばの力を確実に身につけさせるため、ポイントを絞って効率的に授業を展開する。
  - ・ T2は、学習規律を育て、維持させる。児童の学習状況を確実に見取り、追加説明が必要であるとか、児童のつぶやきやすぐれた作品を授業で取り上げるよう、T1に助言する。
  - ・ 本時の学習と次回の学習をつなぎ、事前学習や準備物の有無を児童に知らせる。
  - ・ 学習した言語技術を、他教科につなぐ。
- 柔軟な学習形態の展開
  - ・ 具体的にどう書いたらいいのか理解させるために、全員が教室内を歩いて、友達のワークシートを見合う。
  - ・ 友だちの良いところに気付かせ、いろいろな感じ方や考え方があることに気付かせるために、ペアで作品を交流しあう。
  - ・ 自分の書いた作品をより確実に推敲させるために、ペアで自分の作品を声に出して読み、相手に聞かせる。
- 教室の有効利用
  - ・ 児童の到達度に応じて支援しやすいように、児童の座席を意図的に配置する。
  - ・ 机間指導がしやすいように、机の間を広くする。

- ・ 学習の振り返りができるように、既習学習のポイントを掲示する。
  - ・ 学習への興味・関心を喚起するために、学習に関する掲示コーナーを広く取り活用する。
- 個に応じた支援の充実
- ・ 事前に児童の学習状況を見取り、計画的に支援や机間指導をすることで、個々の学習内容の理解度を上げていく。
  - ・ 机間指導中、その場ですぐに、個々の児童への賞賛や励ましのことばをかける。

## 8 単元の目標

- 自分の考えが明確になるように、段落相互の関係を考えることができる。 (書く能力 ウ)

## 9 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
○自分の伝えたいことがはっきりするよう、段落相互の関係を考え、研究レポートを書こうとしている。	○自分の伝えたいことがはっきりするよう、段落相互の関係を考えている。	○意味のひとまとまりとしての段落が、更に文章全体の意味を組み立てているという役割を理解している。

## 10 単元の学習と評価の計画

次	時	学 習 活 動 (評価方法)	評価の観点		
			国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
一	1	教材文を読み、伝えたいことを「研究レポート」に書いて、相手に伝えることを知り、学習計画を立てる。 研究レポートに、取り上げる内容について考える。 (ウェブマップ)	○		
	2	いろいろな組み立ての「研究レポート」を読み、「研究レポート」とはどのようなものか理解する。 (シンキングカード)	○		
二	3	調べて分かったことを、項目ごとに分けてメモに整理することを理解する。 (メモ)		○	
	4	調べたことのメモと組み立てメモを比べ、組み立てメモの書き方を理解する。 (組み立メモ)	○		

	5	伝えたいことがはっきり伝わるように、組み立てメモを工夫することを理解する。 横書きの書き方を理解する。  (組み立てメモ)		○	○
	6 本時	伝えたいことがはっきり伝わるように工夫して、組み立てメモを書く。  (組み立てメモ)		○	
	7	組み立てメモと「研究レポート」を比べ、「研究レポート」の書き方を理解する。  (研究レポート)		○	
三	8	調べて分かったことをメモに整理し、感想をまとめる。  (メモ)		○	
	9	調べたことのメモをもとに、組み立てメモを作成する。  (組み立てメモ)		○	○
	10	組み立てメモをもとに「研究レポート」を書く。  (研究レポート)		○	
四	11	書いた「研究レポート」を読み合い、感想を伝え合う。  (シンキングカード)	○		

### 11 本時の目標

- 伝えたいことがはっきり伝わるように工夫して、組み立てメモを書くことができる。

### 12 本時の学習展開

主な学習活動と主要発問 (□)	予想される児童の反応	教師の支援 (○) と評価 (◎) 少人数教育のよさを生かした指導・支援 (◇)	
		T1	T2
1 前時の学習内容を想起し、本時の学習課題を確認する。	○みねおくんの組み立てメモをもとに話し合ったことを思い出す。	○前時の掲示物を準備する。	○授業規律
<b>学習課題</b> 伝えたいことがはっきり伝わるように工夫して、組み立てメモを書こう。			
2 組み立てメモを書くポイントについて思い出す。 □ 「メモから組み立てメモを書くときにいらぬものは何でしょう。理由も言いたいです。」	・調べた方法 これから調べるわけじゃないから	○項目を短冊で掲示する。	◇指名

<input type="checkbox"/> 「つけたすものは何でしょう。」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べた理由</li> <li>・題・名前</li> </ul>		◇指名
<input type="checkbox"/> 「組み立てメモを書く時、気をつけることは何でしょう。」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことをはっきりさせる。</li> <li>・メモを選び、組み立てを考える。</li> <li>・調べたこと全体の感想があった方がいい。</li> </ul>		◇指名
<p>3 組み立てメモを書く。</p> <input type="checkbox"/> 「メモを読みましょう。」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉読み</li> <li>・ひとり読み</li> </ul>			
<input type="checkbox"/> 「題と調べた理由を書きましょう。」	<input type="checkbox"/> 調べた理由を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生に本を読んでもらったから</li> <li>・ことばのできかたを知りたかったから。</li> </ul>		◇指名
<input type="checkbox"/> 「組み立てメモを書きましょう。」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で書く。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 書くメモと省くメモに選択する。 <input type="checkbox"/> 項目にそって組み立てメモを書く。	◇個別指導 ◇項目名に着目させる。	◇個別指導 ◇項目名に着目させる。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの組み立てメモを見て歩く。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 実際に友だちの組み立てメモを見て、具体的にどのように書いたらいいのか理解させる。	<input type="checkbox"/> まちがいがあれば全体説明をする。	<input type="checkbox"/> 授業規律
<ul style="list-style-type: none"> <li>・続きを自分で書く。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 自分の組み立てメモをよりよいものにする。	◇時間内で組み立てメモを書くことができた児童を評価する。	◇時間内で組み立てメモを書くことができた児童を評価する。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のメモを読む。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 声に出して読む。 <input type="checkbox"/> まちがいがあれば修正する。	(スタンプ)	(スタンプ)
<p>4 ペアで組み立てメモを交流しあう。</p>			
<input type="checkbox"/> 「組み立てメモを、ペアで発表しあいましょう。」	<input type="checkbox"/> 組み立てメモを文章にして発表する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・なるほどと思える感想があった</li> </ul>		◎個人の学習到達度を考慮し、まず書けたことを褒める。

<p>□「参考になったところがあれば，自分の組み立てメモに取り入れましょう。」</p> <p>5 組み立てメモを発表する。</p> <p>□「組み立てメモを発表しましょう。」</p> <p>6 参考図書を紹介する。</p> <p>7 本時のまとめをする。</p>	<p>・自分の組み立てメモを修正する。</p> <p>○組み立てメモを文章にして発表する。</p>	<p>◇修正している箇所を見取り，次時の指導に役立てる。</p> <p>◎調べたこと全体についての感想を書いている児童を評価する。</p> <p>○調べたいと思うような内容を紹介する。</p>	<p>◎自分の組み立てメモを推敲している児童をほめる。</p> <p>◇学習規律</p>
---	---	--	--

### 13 評価規準・評価方法

A: 伝えたいことが確かに伝わるように，書く順序やまとめ方を工夫して，組み立てメモを書いている。

B: 伝えたいことをはっきりさせ，項目にそって組み立てメモを書いている。

評価方法 (組み立てメモ)

### 14 少人数学級のよさを生かした指導の工夫

3年〇組 国語科		授業作りの視点		
手立て		「ことばの教育」	児童相互の係わり合い	児童の見取り
柔軟な学習形態の展開	ペア学習	○	○	
	一斉学習	○		
教室の有効利用	机の配置 (スペース)		○	○
	机の配置 (学習到達度)	○		○
	学習計画の掲示	○	○	
個に応じた支援の充実	計画的机間指導	○		○
	座席表チェック			○
	学習規律の徹底			○